

市民と行政の協働によるまちづくりにむけて

進む情報化と地方分権の波、問題となっている少子・高齢化。

大きなうねりをあげる時代の流れの中で、いよいよ始まった21世紀。

新しい課題に取り組みながら「岩倉らしさ」をより大切に

市民と行政が一緒になって進めるこれからのまちづくり。

その方向性を示すものとして、この第3次岩倉市総合計画を策定しました。

目次

総合計画の策定にあたって	2
将来人口・土地利用	2
基本構想	3
めざすべき市の姿	
◎ 将来都市像「健康で明るい緑の文化都市」	
◎ 基本理念「豊かな心と協働による 成熟した市民生活をめざす」	
◎ 基本目標	
基本計画	4
◎ 第1章 人にやさしく、健康で安心感のあるふれあいのまちづくり	4
◎ 第2章 自然と共生した、安全でうるおいに満ちたまちづくり	5
◎ 第3章 個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり	6
◎ 第4章 便利で快適な魅力あるまちづくり	7
◎ 第5章 賑わいと活力のあるまちづくり	8
◎ 第6章 市民との協働による計画的なまちづくり	9
市民地域づくりプラン	10
◎ 北部地域	11
◎ 中部東地域	11
◎ 中部西地域	12
◎ 南部東地域	12
◎ 南部西地域	13
第3次岩倉市総合計画策定体制図	13

〈表紙デザイン〉

「赤ちゃんの笑顔」そこには限りない可能性が存在します。
「人」という文字、それは、ささえあい助けあうことを表しています。
新世紀がはじまり、これからの「まちづくり」にあたり、
基本におもものほろ人のこころ」であり、市民と行政が協働して
未来をめざして歩こうとするものです。